

19th MACS

2022 コロキウム

2022 年度 MACS 学生説明会

4月18日(月) 15:00~

開催形式: Zoom オンライン会議

【参加登録】

<https://forms.gle/wrC7RjyfRwCikUoP6>



15:00~ 第19回 MACS コロキウム

形態形成の多細胞力学シミュレーション

井上 康博 博士 (京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻)

多細胞生物の器官の形は、その機能発現と深く関わっており、その形の成り立ち(形態形成)には、個々の細胞が生み出す力が重要な働きをしています。近年、形態形成を多細胞の力学をもとに、計算機を用いたシミュレーションで解析できるようになりました。多細胞力学シミュレーションの概要、現状や課題について紹介します。

16:05~ 2022 年度 MACS 学生説明会

スタディーグループ 2022 の代表教員・参加教員による企画説明(各5分、順不同)

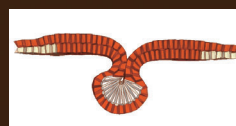
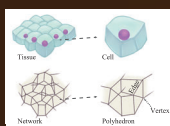
- データ同化の数理と応用: 理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス
代表教員: 坂上 貴之 (数学・数理解析専攻)
- XR で見る・3D で触る先端科学
代表教員: 稲生 啓行 (数学・数理解析専攻)
- 生命のダイナミクスを観て(観察)考える(数理)
代表教員: 高橋 淑子 (生物科学専攻)
- 自然科学における統計サンプリングとモデリング: 数理から実践まで
代表教員: 林 重彦 (化学専攻)
- 理化学研究所と MACS を繋ぐパイプライン
代表教員: 小林 俊介 (数学・数理解析専攻)
- 「かたちづくり」の数理を発見しよう!
代表教員: 市川 正敏 (物理学・宇宙物理学専攻)
- 疾患における集団的細胞挙動の数理モデルの開拓
代表教員: Karel Svadlenka (数学・数理解析専攻)
- コンピュータでとことん遊ぶ
代表教員: 藤 定義 (物理学・宇宙物理学専攻)
- バクテリアと数理をつなぐ
代表教員: 佐々 真一 (物理学・宇宙物理学専攻)
- 数学者と学ぶ量子力学
代表教員: 楠岡 誠一郎 (数学・数理解析専攻)
- ソースコードから始まる異分野交流
代表教員: 伊丹 将人 (物理学・宇宙物理学専攻)

17:10~ 各スタディーグループの個別説明 (Zoom ブレイクアウトルーム)

※スタディーグループ(SG)参加対象: 主に理学部・理学研究科の学生が参加対象です。それ以外の学生の登録も可能ですが、参加希望者多数の場合は調整の可能性があります。今年度の SG の情報は以下の HP から得ることができますので参考にしてください。
<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/academics/programs/macs/sg/sg2022/>

井上 康博 博士

京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻



●備考

◎本コロキウム・説明会は理学部・理学研究科の学生・教職員が対象ですが、京都大学の方ならどなたでもご参加いただけます。

◎学内教育プログラムに関するイベントであるため、学外・一般の方の登録は原則不可としております。ご登録いただきましてもリストより削除させていただきます。

◎なお、MACS コロキウムの講演は講師の先生の許諾が得られた場合、後日京都大学 OCW(YouTube) に公開されますので、そちらをご覧くださいませうよろしく御願います。

<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/ja/academics/programs/macs/archives.html>

◎問い合わせ先: macs * sci.kyoto-u.ac.jp (*を@に変えてください)